

学術講演会

テーマ 「疾病に年齢・時代・世代はどう関わるか？
～ コウホート分析でわかること ～」

◆ コウホート分析とは、継続的な調査データから年齢効果、時代効果、世代効果を分離することにより、社会の変化の構造に迫ろうとする統計的方法のことです。

ここで、コウホート(cohort)とは、語源的にはローマ時代の軍団の単位を表しますが、転じて今日では人生のある契機をほぼ同時期に経験した人間集団を指すものとなり、何も冠さなければ同時出生集団を意味し世代と同義です。

◆ 本講演では、脳血管疾患による死亡やがんの罹患データをコウホート分析した結果を示し、戦後昭和期から平成期に至る日本社会の疾病構造の変化に、年齢・時代・世代がどう関わっているかを見ます。

また、統計的方法としてのコウホート分析が抱える問題点とその克服法についても少しだけ触れます。

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

講師 中村 隆 氏 (統計数理研究所 教授)

とき 11月26日(水) 16:30～18:00

ところ 中京大学 豊田キャンパス
14号館(体育中央棟) 2階会議室

※ お申込みは不要(無料)となっております。是非ご来聴ください。

▶ お問い合わせ先 : 体育学部事務室 TEL:0565-46-1270

